

Sustainable Farming by GreenArk.

サステイナブル・ファーミング・バイ・グリーンアーク

[read more](#)



VISION

持続可能な農業の未来を支える新プロジェクト始動

自然と技術で育む、食の安全を未来へ

GreenArk



日本の農業は、環境変動や人手不足といった課題を抱える中、
GXによる脱炭素化や循環型の仕組み、DXによるデータ活用や自動化が欠かせません。
私たちはGreenArk「安全な食を守る“方舟”」という理念のもと、
自然との共生を軸に最新技術を取り入れ、持続可能な農業を実現します。
安心で質の高い食を安定的に届けることで、
未来の子供たちの健康と日本の食文化を守り、「安全な食」を未来へつなぎます。

GreenArkとは

従来の農業ハウス構造に木材（間伐材を含む）を積極的に取り入れた、環境配慮型のハイブリッド農業ハウスです。

グループ企業である兼松サステック株式会社が開発した「AZN乾式保存処理」を施すことで、木材の弱点とされてきた耐久性(防腐・防蟻性能)を大幅に向上させておりMUFGスタジアム(国立競技場)にも採用されています。

自然素材の持つ温もりや環境性能と、鉄骨・パイプ構造による強度・施工性を融合し、持続可能性と実用性を両立した次世代農業インフラとして設計されています。

本プロジェクトの第一弾として、株式会社アグリス（本社：福岡県八女市）の協力のもと、同社子会社である株式会社いちごみらい舎が運営する**「いちごみらい園」（埼玉県越谷市）**の新型イチゴ栽培ハウスにGreenArkが採用され、実証実験を開始しました。

GreenArkの採用により、1棟あたり約13トンのCO2出量削減を実現しており、農業分野における脱炭素化への具体的な一步となっています。



木材を活用した次世代型農業ハウス
「安全な食を守る“方舟”」

GreenArk

※現在兼松寒川で商標登録出願中

SOLUTION

01

SOLUTION

02

SOLUTION

03

SOLUTION

04

SOLUTION

05

SOLUTION

06

SOLUTION

07



ハウス骨組み
木材

農業ハウス設計
施工

GreenArk専用
フィルム

内部環境設計

フィルム太陽光
発電

農業ロボット

ICT

基本パッケージ

GreenArk

スマート農業ハウスソリューション
FUTURE